

自然とふるさとを愛する気持ちをはぐくんで

黒坂小学校児童が桜などを植樹



植樹に参加した黒坂小学校の1・2年生と保護者、関係者



スコップを手に一生懸命植樹する児童

10月13日、鵜の池公園で黒坂小学校の1・2年生の児童が桜などの植樹を行いました。

これは、同小学校PTAが中心となり、「緑の募金事業」の一環として、児童が自然に対する理解を深めるとともに、ふるさとへの愛情をはぐくむことを目的に行われたものです。

また、植樹の前に「19市町村みどりのリレー」も同時開催。同イベントでは、平成31年春に「第30回全国みどりの愛護のつどい」が鳥取市で開催されることに伴い、「移植ごて」をバトンに全市町村を回る取り組みが行われています。当日は、埴田町長が移植ごてを次の走者である境港市の代表者へ手渡しました。

今回、植樹で用意された樹木は、ソメイヨシノ2本、クヌギ3本、ミツバツツジ10本。児童は、保護者や関係者が見守る中、スコップを使ってソメイヨシノなどを植えていきました。

「よいしょ、よいしょ」「大きくなつてね」と声を掛けながら植樹する児童ら。植えられた樹木は、晴れ渡った青空に向かって元気いっぱい陽の光を浴びていました。

知られざる牛と地域のかかわり

古民家塾「大山開山1300年 中国山地 和牛のふるさと」



「明治初期の大山牛馬市の取引頭数は日本一」と板垣さん

10月13日、古民家沙々樹（舟場）で、同古民家と奥日野ガイド倶楽部主催の「古民家塾」が開かれました。

今回は、地域の和牛生産の歴史をテーマに、島根大学法文学部准教授の板垣貴志さんの講座を聴きました。

板垣さんは、日野郡をはじめとする中国山地で江戸時代から盛んだった農耕牛の改良や、それらを預託・共有する仕組みが現在の金融・保険システムに繋がっていることなどを、自らの研究を交えて解説しました。

会場には、町内外から約40人が参加、知らなかった地域の歴史について認識を新たにしていました。

伝統の日野路。60回に向け期待高まる

日野町駅伝競走大会



たすきを手に仲間が待つ場所へ全力疾走

初秋の出雲街道根雨宿で健脚を競う、第59回体力づくり日野町駅伝競走大会が、役場から根雨1区までの折り返しコースで開かれました。

当日は、駅伝の部に小学校や事業所などから10チーム、中学生・高校生から16チームが出場。また、小学生ミニマラソン低学年の部（1キ）に26人、高学年の部（1・8キ）に16人が出場し、健脚を競いました。

選手らは沿道から送られる大きな声援を受けながら、ゴールを目指し駆け抜けていきました。



俳句で広がる地域間交流の輪

町内外の俳句グループが鶉の池公園で吟行



初秋の情景を思い浮かべながら句を詠む参加者

加した際に、鶉の池公園の自然に引かれたのがきっかけで、頭本さんに呼びかけ実現しました。

当日は、あやめ句会などから20人、初音句会から4人が参加。初秋の鶉の池公園を歩き、青空の下きらめく湖面や色づき始めた樹木などを眺めながら、思い思いに句を詠んでいました。

その後、下黒坂ふれあい会館で、投句（作った俳句を無記名で投句用紙に記入すること）と選句（投句された俳句の中から自分の作品以外で良いものを選ぶこと）を行い、交流を深めました。

10月25日、鶉の池公園で、湯梨浜町などで活動しているあやめ句会（中前順子代表）を中心とした俳句グループと日野町の初音句会（頭本まさほ代表）が俳句を通じ交流しました。

今回の交流は、あやめ句会が以前日野町で開かれた俳句大会に参

《評価が高かった2句を紹介》

きらめきを 広げ鴛鴦（おし）待つ 山の湖（うみ）

弁当の 無花果（いちじく）料理 一番に

あやめ句会の中前さんは「秋晴れの鶉の池で良い句会ができました。日野の農産物を使った弁当もおいしかった」と話すと、頭本さんも「たくさんの俳句の仲間と交流でき、楽しい時間を過ごせました」と笑顔をみせていました。

根雨を愛した故川上護さんの思いを胸に

川上さん著「新根雨界限」を寄贈



埴田町長に本を手渡す川上さん（右）

10月26日、川上文字さん（根雨）が、町役場を訪れ、根雨の歴史などがまとめられた「新根雨界限」を寄贈しました。

これは、町歴史研修会の副会長も務めた、夫である川上護さんが遺した原稿を川上さんから家族が一冊の本としてまとめたものです。「『本にしたい』という本人の意思を形にできてよかった。多くの皆さんに読んでもらいたいです」と川上さん。なお、今回寄贈された本は、町図書館で貸し出ししています。ぜひ、ご覧ください。

サツマイモも笑顔もほっこり

ひのっこ保育所サツマイモ掘り交流



おっきいね！笑顔いっぱいの子どもたち

10月18日、津地地内の畑でひのっこ保育所と津地自治会とのサツマイモ掘り交流会が行われました。

青空の下、保育所から36人の園児が参加し、6月に一緒に植えたサツマイモを津地自治会の皆さんと収穫。園児らが大きく育ったサツマイモの掘り起こしに悪戦苦闘する中、地域の人が優しく手助けする様子が見られました。

サツマイモ掘りの後は、みんなで焼き芋をほおぼり交流。持参した袋に大きく育ったサツマイモを持ち帰り、大満足の収穫祭となりました。